

尼崎市新型インフルエンザ等対策行動計画(素案)に対するパブリックコメント募集結果

1人の方から、4件の意見をいただきました。

寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見 の概要	件 数	市の考え方
新型インフルエンザ対策の必要性について			
1	なぜこのように新型インフルエンザなど重要視するのか。過去のものであり、今は季節性（インフルエンザの）ワクチン接種で90%抑えられる。	1	[その他] 新型インフルエンザは、季節性インフルエンザウイルスとは異なる特徴を持つウイルスが出現することで、およそ10年から40年の周期で発生しており、ほとんどの人が新型のウイルスに対する免疫を獲得していないことから、世界的な大流行による健康被害と、これに伴う社会的な影響が懸念されています。 このため、本市では、令和7年3月に改定された兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ等の感染症から市民の生命と健康を守り、市民生活および地域経済への影響を最小限にとどめることを目的として、市行動計画を改定しています。
まん延防止について			
2	まん延防止もおこなっているのか。	1	[その他] 市行動計画では、新型インフルエンザ等の感染拡大のスピードやピークを抑制するため、患者や濃厚接触者に対する入院勧告や健康観察、事業者や市民等に対するマスク着用等の基本的な感染対策の要請や、外出自粛の要請等をまん延防止対策として定めています。
ワクチンについて			
3	季節性インフルエンザワクチン（の接種を）無料で全市民に提供を。	1	[今回の意見公募の対象としていないもの] 本市では、以下の方を対象に、季節性インフルエンザのワクチン接種に係る費用について助成を行っており、その他の助成は考えておりません。（令和7年度は自己負担1,500円） ①65歳以上の方 ②60～64歳までの方であって心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能または免疫の機能に障害を有するものとして身体障害者手帳1級を有する方
治療薬の備蓄について			
4	治療薬の備蓄について、県備蓄とあるが、なぜ抗インフルエンザウイルス薬だけなのか。	1	[その他] 治療薬の備蓄については、国の「感染症危機対応医薬品等の利用可能確保に関する検討会」において対応感染症と薬剤について方針を定めており、新型インフルエンザ対策として、国及び県において抗インフルエンザウイルス薬が備蓄されています。